



<平成25年度の始まりよせて>

一丁目自治会
会長 横川 満

25年度の自治会活動が始まりました。本年度も昨年度同様に自治会活動に対し、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

4月14日の総会時に平成25年度課題として事業計画で発表したなかでまずは、①「**住み続けたいまちづくり**」を志向しながら、環境や福利厚生面での活動を、更に推進していきたいと考えます。

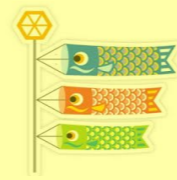
また、今年度の課題は他に、

- ②災害時や福祉に関する組織的な対応
- ③安全安心のシステムづくり
- ④具体的活動の展開
- ⑤自治会会員世帯数のアップ
- ⑥役員会・定例会の充実と運営の在り方 を上げました。

役員、班長さんを中心に、みんなで「まちづくり」に努力していきましょう。4月総会で各事業部から提示された内容に対し、今後、ご意見等があれば役員、班長さんまで届けてください。

みんなで知恵を出し合い、良く話し合い、目標に向かって進んでいきたいと考えますので。

なお、今年度の一丁目の自治会活動の内容や回覧等の紙面に関しては「一丁目自治会ホームページ」でご覧いただけますので、是非ご利用ください。



新役員紹介



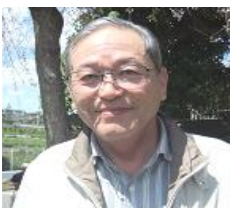
4月14日の総会にて、新役員が承認されました。昨年度より引き続き担当される方の他に、新たに役員になられた方を今号と次号にて紹介いたします。自治会活動の色々な場面や町内で顔を合わせてよくご存じの方もいるとは思いますが、あら

副会長 葉山 恒夫



平成25年度、26年度の自治会副会長を務めます葉山です。これまで担当した総務部副部長も兼務しますので引き続きよろしくお願いいたします。3年前現役リタイアしたときに、たまたま班長の役割が回ってきたことが自治会活動参加のきっかけでした。それまで仕事に追われ、地域のことを省みる余裕もなかったのですが、横川会長を始め真に地域のことを考え活動される方々に触発され、少しは自分も地域のお役に立ちたいと引き受けました。もともと引っ込み思案タイプなので、これからもサブに徹して会長の補佐を努めたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

副会長 早坂 勇



この度自治会の副会長に選出されました早坂勇と申します。何分不慣れでございます。その重責を果たせるか、まことに心もとない所ではありますが、皆様の御指導をいただきながら一生懸命頑張って緑園一丁目を更に安心して安全な住みよい町にしていきたいと考えています。御協力を宜しくお願い申し上げます。

福利厚生部部长 金光 義道



福利厚生といえば、住民の皆様の子育てから高齢者まで、健康で楽しく安心して住み続けられる街づくりに協力して行かなければなりません。今までは敬老の日のお祝い、バス旅行、各種イベントへの協力などが主な仕事でしたが、昨年度から災害時要援護者支援推進活動(キズナ会)が発足し、大きな関心ももたれています。国、市の方針はもちろん、住民の皆様のご理解とご協力が何より必要となります。いざと云うとき、頼りになる資料やルールを纏めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。今年は秋のバス旅行も楽しみにして下さい。

平成25年度のキックオフ



お花見会



去る4月7日、前日までの荒天が打って変わって晴天☀、満開の時期は少々過ぎましたが、緑園一丁目恒例のお花見大会がランドマークの稲荷谷公園で開催されました。

当日は朝早くから、自治会担当者や子供会の皆様が準備をされ、豚汁・フランクフルト・おにぎりそして飲物と開始時間の前には万全の用意がされていました。担当の方々、いつもありがとうございます。



3日前が満開でした



当日の葉桜



フランクフルト焼いています！

当日のお花見写真は、緑園一丁目のホームページにも掲載されています

東西南北 【私の故郷】

雪国の春 越後・六日町 阿部政敏

第2回となりました今回は、雪国の春と題しまして越後・六日町出身阿部政敏(昨年度班長・広報部)さんに登場いただきました。

『国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。』…の一節から始まる川端康成の雪国は、越後湯沢の温泉宿『高半』で執筆され皆さんもご存知の事と思います。

そこから、更に魚野川に沿って新潟方面に下ると、車窓には真っ白の雪を抱いた、名峰『八海山』を望む、私の故郷、雪の六日町に到着です。『八海山』は、新潟の清酒で有名ですが、中岳、駒ヶ岳と連なる越後三山と呼ばれており、山頂部分が屏風のように立ち上がり迫力ある山容を呈しております。信仰の山としても知られており、数多くの信者の修験の聖地ともなっております。今回は、雪国の春について紹介しましょう…長い雪国の生活は、それはそれは、春の訪れが待ち遠しいものです。子供の頃は春が待ち切れなく、雪を掘って黒土と雪下に息づく緑草を見て感動したものです。そして雪国の春は、なんとと言っても山菜採りです。うど・ぜんまい・木の芽・ごみ・うるい・たらめ・わらび、山たけのご等々が一斉に吹き出します。そのなかでも、特にぜんまい採りは春の、ちょっとした収入源で、太いぜんまい程高値で売れます。ぜんまいは、綿を取って湯でてから、むしろに広げ春日に干しては揉み、干しては揉みを繰り返して乾燥させます。雪国の文化と風土を詳細に観察した名著に鈴木牧之の『北越雪譜』があります。

雪国には春の息吹に特別なものがあります。雪の越後へ、ぜひ一度お越し下さい。地酒とコシヒカリとそして温泉に浸り、『じよんのびだなあ〜』を感じに…



■実家より八海山を望む



■山菜採り



■朝の道踏み(雪国の日課)
昭和48年 撮影 積雪4~5m

編集後記

今年は、春先に初夏のような天気になったと思えば、5月に入っても朝晩は冷え込むといったように気候が安定しません。そんな中行われたお花見会も前日までは台風のような天気で、開催は難しいのではと思っていましたが…いつも稲荷谷公園の整備に尽力されている公園守の方々や、子供たちの思いが伝わったのか快晴となり、楽しい一時を過ごさせていただきました。今年度が始まりました。今年広報部は「一丁目のキャラクター「いっちょめくん」」をより前面に出して、一丁目の自治会活動を支援したいと考えますのでよろしくお願い申し上げます。また、当誌へのご意見ご希望は、広報部相原 090-8808-4101、kouhou1114@gmail.com または、同部 栗竹・富塚までお願いします。

